

1. コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン (関係者用)

本ガイドラインは、「令和3年度(公財)日本中学校体育連盟 全国中学校体育大会実施上の COVID-19感染拡大予防ガイドライン」に基づいて作成しています。

はじめに

大会参加に際して、感染拡大予防のために下記内容を遵守してください。万が一、協力をしていただけない場合は、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。

大会参加要件

以降、散見される「**感染の疑い**」とは、
「**37.5℃以上の発熱、味覚・臭覚異常、(当該者の既往歴から想定しにくい風邪症状など) 平時にはない体調不良**」と定義します。

- ①監督会議開始時ならびに監督会議開始時以降に、感染者**もしくは**、濃厚接触者と認定された者の大会参加は認められません。
- ②監督者会議前14日(8月3日)以内に感染者**もしくは**、濃厚接触者と認定された者の参加は認められません。
- ③監督者会議前14日以内に、感染が疑われる者が発生した場合は、その者は病院を必ず受診し医師の診断を受けてください。感染が否定されているとする明確な医師の診断がない限りは、その者の大会参加は認められません。
- ④監督者会議前14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航、又は当該在住者との濃厚接触がある場合の参加は認められません。
- ⑤監督者会議開始時以降に、**感染が疑われる者が発生した場合**は、その者の大会参加は認められません。
- ⑥**監督者会議前14日から監督者会議開始時以降**に同居人に感染が疑われる者がいる場合、または、発生した場合は、即時、病院を受診し医師の診断を受けてください。その診断結果により、上記①～③への対応に進みます。

【重要】監督者会議 2週間前から大会会期中に、感染者、濃厚接触者、感染が疑われる者が発生した場合、速やかに大会本部に連絡をしてください。※事故発生時も同様。

大会終了後の対応

- ①大会終了日から2週間以内に、コロナウイルス感染症への感染が分かった場合は、ただちに大会本部へ報告してください。

感染防止対策

①検温

・大会参加者は全員検温をして会場にきてください。

- ②マスクの着用(熱中症などの健康被害が想定される場合は、その限りではない。)

・競技およびウォームアップ実施以外は常時マスクを着用してください。(会場内ではマスク着用)

・日常的にマスクを着用し、移動中の着用も努めてください。

・マスクを外さざるを得ない場合には、ソーシャルディスタンス(2m)が保たれていない状況下での会話・声掛け・大声は控えてください。

・**競技役員は常にマスクを着用する。**

③手洗い

・こまめな手洗いと手指消毒を行ってください。

④ソーシャルディスタンス

・2mの距離をとった活動を心がけましょう。食事は他者と距離をとり、会話は控えてください。

提出物の確認と提出の流れ

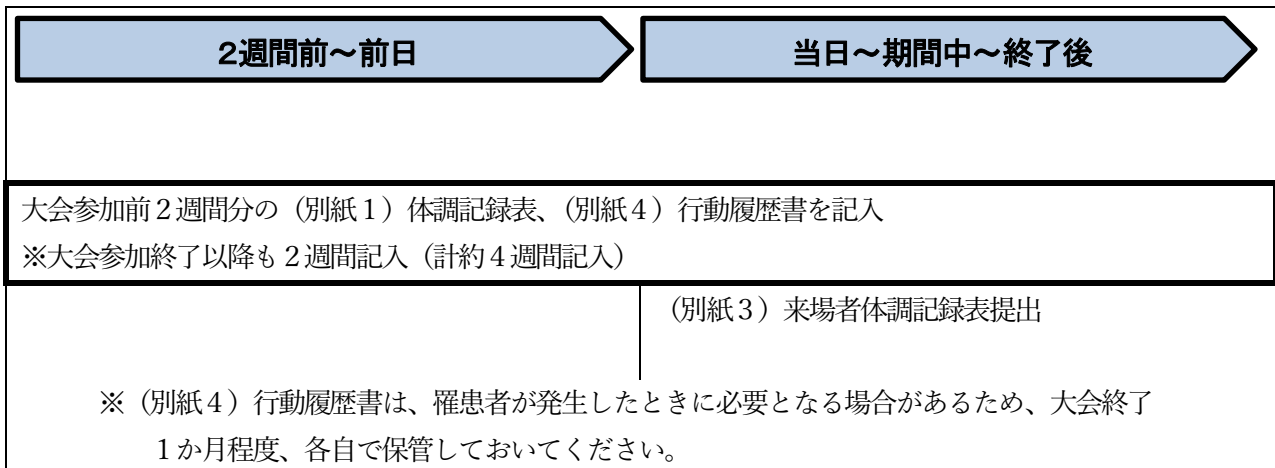
- ①(別紙3)来場者体調記録表を来場した日、全日に本部受付に提出してください。
- ②(別紙1)体調記録表と(別紙4)行動履歴書を大会前2週間～大会後2週間継続して記入してください。

大会開催可否判断について

- ①大会期間中に感染者が発生した場合には、大会本部が保健所等の外部機関と連携し、大会を中止・継続するかを即協議し判断します。

大会参加までの流れ（フロー図）

参考：日本中体連ガイドライン 令和3年2月22日



1. コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン (参加校用)

本ガイドラインは、「令和3年度(公財)日本中学校体育連盟 全国中学校体育大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」に基づいて作成しています。本ガイドラインは、今後の状況により変更することがあります。

はじめに

大会参加に際して、感染拡大予防のために下記内容を遵守してください。万が一、協力をしていただけない場合は、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。

大会参加要件

以降、散見される**感染の疑い**とは、

「37.5℃以上の発熱、味覚・臭覚異常、(当該者の既往歴から想定しにくい風邪症状など)平時にはない体調不良」と定義します。

- ①監督会議開始時ならびに監督会議開始時以降に、感染者もしくは、濃厚接触者がチーム内に発生している場合は、そのチームの大会参加は認められません。
- ②監督者会議前14日(8月6日)以内に感染者もしくは、濃厚接触者と認定された者の参加は認められません。またその場合、監督者会議開始時に所属するチーム関係者全員に対し、感染は否定されているとする明確な医師の診断がない限りは、そのチームの大会参加は認められません。
- ③監督者会議前14日以内に、感染が疑われる者が発生した場合は、その者は病院を必ず受診し医師の診断を受けてください。感染は否定されているとする明確な医師の診断がない限りは、その者の大会参加は認められません。またその者が感染者もしくは、濃厚接触者と認定された場合は、②の対応に進みます。
- ④監督者会議前14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航、又は当該在住者との濃厚接触がある場合の参加は認められません。またその場合、監督者会議開始時に所属するチーム関係者全員に対し、感染は否定されているとする明確な医師の診断がない限りは、そのチームの大会参加は認められません。
- ⑤監督者会議開始時以降に、感染が疑われる者が発生した場合は、その者が所属するチームの大会への参加を辞退していただきます。また、病院を必ず受診し医師の診断を受けてください。
- ⑥監督者会議前14日から監督者会議開始時以降に同居人に感染が疑われる者がいる場合、または、発生した場合は、即時、病院を受診し医師の診断を受けてください。その診断結果により、上記①～③への対応に進みます。
- ⑦提出物を提出していない者の参加は認められません。(提出物については後述ならびに別紙)
- ⑧大会参加においては、必要最小限の人数での参加をお願いします。選手1名(1チーム)に対し1名の引率者を原則とします。

【重要】監督者会議 2週間前から大会会期中に、感染者、濃厚接触者、感染が疑われる者が発生した場合、速やかに大会本部に連絡をしてください。※事故発生時も同様。

大会終了後の対応

- ①大会終了日から2週間以内に、大会参加者(保護者も含める)に新型コロナウイルス感染症への感染が分かった場合は、ただちに引率者から大会本部へ報告してください。

感染防止対策

①検温

・大会参加者は全員検温をして会場にきてください。

②マスクの着用(熱中症などの健康被害が想定される場合は、その限りではない。)

・競技およびウォームアップ実施以外は原則マスクを着用してください。

・会場内ではマスクを着用してください。

・日常的にマスクを着用し、移動中の着用も努めてください。

・マスクを外さざるを得ない場合には、ソーシャルディスタンス(2m)が保たれていない状況下での会話・声掛け・大声は控えてください。

③手洗い

・こまめな手洗いと手指消毒を行ってください。

④ソーシャルディスタンス

- ・練習及び更衣において、選手同士が密集・密接となる場面での声出しは控えてください。
- ・肌が触れあうハイタッチは推奨しません。
- ・応援席も一定の距離(2m)を保って観戦してください。大きな声での声援は控えてください。
- ・食事は他者と距離をとり、会話は控えましょう。

提出物の確認と提出の流れ

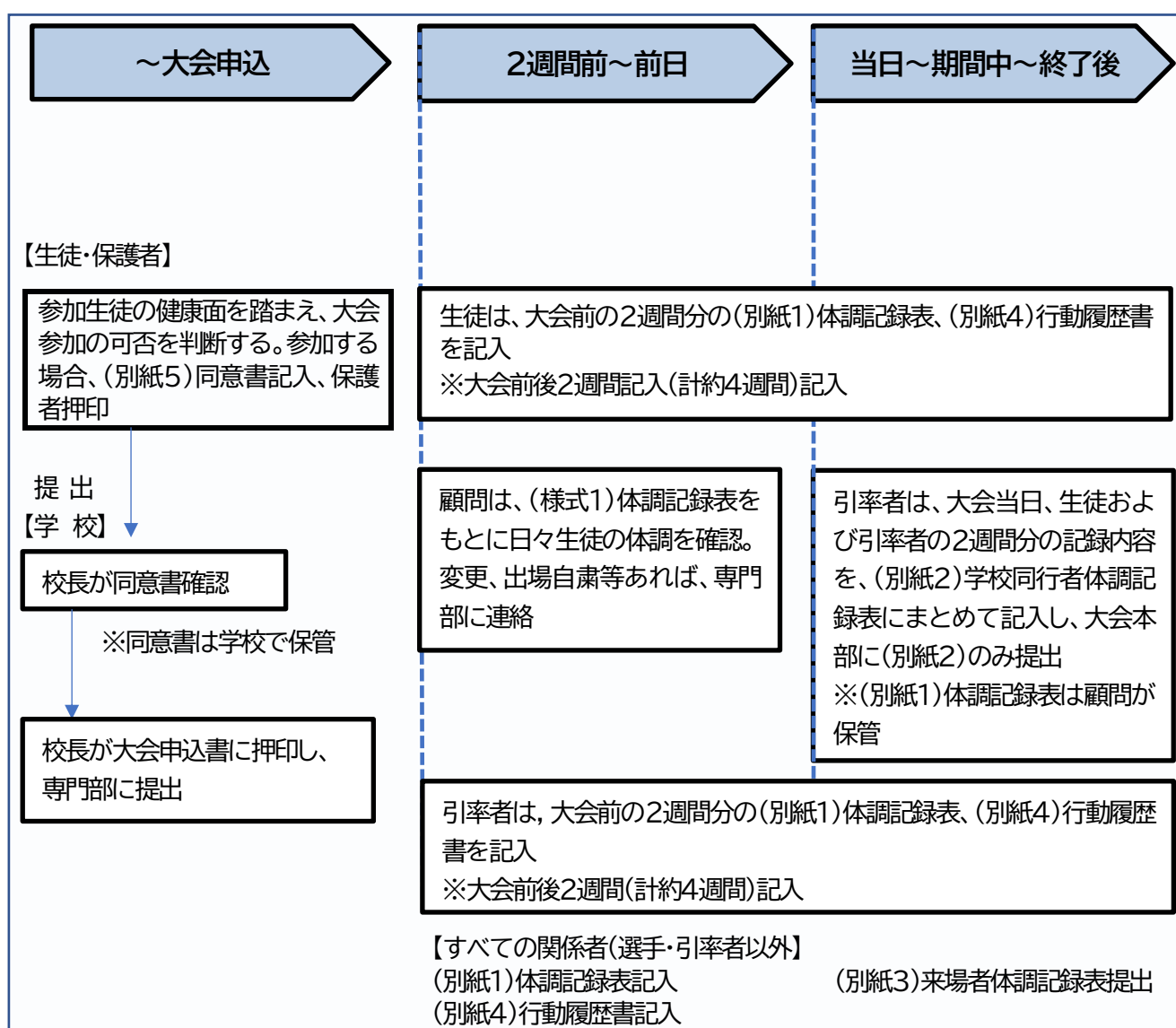
- ①(別紙1)体調記録表および(別紙4)行動履歴書の内容を、(別紙2)学校同行者体調記録表にまとめて記入してください。大会当日、(別紙2)を引率者が大会本部に提出してください。
- ②大会終了後2週間も、(別紙1)および(別紙4)を継続して記入してください。
- ③観戦者は、試合当日、受付にて、(別紙3)来場者体調記録表を提出してください。
- ④(別紙5)同意書を保護者から各学校長へ提出してください。(学校保管)

大会開催可否判断について

- ①大会期間中に感染者が発生した場合には、大会本部が保健所等の外部機関と連携し、大会を中止・継続するかを即協議し判断します。

大会参加までの流れ(フロー図)

参考：日本中体連ガイドライン 令和3年2月22日



※(別紙4)行動履歴書は、罹患者が発生した時に必要となる場合があるため、大会終了1ヶ月程度、各自で保管しておくこと。

出場選手の中で、大会期間中に新型コロナウイルス罹患者、疑いのある者が発生した場合の流れ

